

今年も様々なクリスマス・カードをいただきました。嬉しくて、壁の1年間用の大きなカレンダーに貼り付けて、毎日ながめています。今年も、ペーパークラフトの切り絵カードを三枚もいただきました。とても美しく、アイデアも凝らされていて、細かな細工に感心してしまいます。



これにはクリスマスの魅力がすべて盛り込まれています。ホワイト・クリスマスの情景です。白く静かな世界です。「きよしこの夜、星は光り」の賛美歌が聞こえてきそうな星空です。そして誰もが待っているサンタクロースがトナカイの引く橇に乗って空を駆け巡っています。そのすべての下で、静かに、けれども、どっしり、たたずみ、すべてをじっと見つめているような教会が立っています、門が開いています。さあ、待っていますよ！と呼びかけてくれます。

このような夢のあるカードを頂き、♪嬉しい、嬉しい、クリスマス、カンカン、カンカン、鐘の音♪と口ずさみたくなるような楽しい気分がこみ上げてきます。



次のカードは、2000年以上前の、最初のクリスマスの情景を映し出しています。貧しい馬小屋で、飼い葉桶の藁の上に、布に包まれて眠る幼子イエス様が真ん中にいます。イエス様を囲んで、父ヨセフも、母マリアも、羊飼いや東方の三賢人も礼拝しています。それだけではなく、天では天使と共に大きな星々が輝き、共に賛美しています。地上では草木も動物ものどかに、喜び、祝っているようです。ドイツ語で「祝福されたクリスマス」と記されています。

これらのカードは透かしを用いていますので、奥行きが出て、立体的に見えますが、なんといっても、光のあたる面と影になる部分の両方を感じながら、眺めて、楽しむことが出来るのです。クリスマスに読まれる印象的な聖書の言葉が思い出されます。

初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は、初めに神と共にあった。万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった。言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった。(ヨハネ1:1)



もう一つ、シュトーレンとクッキーの下に忍ばせて、切り絵細工のカードがドイツから到着しました。五枚重ねの箱型のカードです。これは最後の一枚まで切り絵になって、透けていました。私の大好きなバラの花がモチーフです。雪の結晶までがバラのイメージに作られています。真ん中に、鳩が飛んでいます。私はカードの後ろにろうそくを置いて、裏側から光を当ててみました。このようにすると、光に照らされて、形が鮮明に浮き上がります。とても美しく変身しました。真ん中に切り込みの文字が見えました。残念ながら読めなかったので、調べると、フランス語で「新年おめでとう」でした。冬至も過ぎ、いよいよクリスマスです。

クリスマスは、光と影、命と闇を思いながら、命の光として輝くイエス様の御降誕を祝う時だと思い、感謝しつつ日々を過ごしています。